

第 15 次共同研究に係る加盟機関及び域内における実践

(胆振教育研究所)

研究内容 1

「授業改善」及び「授業改善を促す校内研究」支援の在り方に関わる学校支援の取組について

(1) 授業改善のための支援

ア 指導と評価の一体化の促進

本教育研究所では、平成 24～26 年度まで取り組んだ「授業に生かす学習評価の充実」について研究発表大会や研究紀要を生かし、指導に生かす学習評価の充実について、学校訪問の際に促進を図った。



イ 思考力を育む授業づくりの促進

平成 26 年度末に行った共同学習研修講座での内容を必要に応じて伝えたり、学校訪問の際にアクティブ・ラーニングについて取り組んでいる学校に対し資料提供や助言を行ったりした。

ウ カリキュラム改善の視点を踏まえた授業づくりの促進

(道徳教育にかかわって)

道徳教育についての理論研究をスタートした本年度は、道徳教育の全体計画等、基礎・基本からの理論研究を進めた（年度末に研究紀要発刊）。

教育活動全体を通して行う道徳教育を進めるうえで、カリキュラム改善の視点は重要である。その点についても、道徳教育推進の視点から提案を行っている。

(2) 校内研究活性化に向けた支援

ア 目的やねらいを踏まえた校内研究の促進

学校訪問の際に、道研連で行った研修プログラムを紹介したり、全体研修に参加する中で改善点をお伝えすることで、研修プログラムの活性化を図ったりした。

学校訪問は、苫小牧市・室蘭市を除く 9 市町から「研究委託校」「実践校」を推薦いただき、その学校ごとに担当所員を決めて年に 1～2 回派遣した。その中で、研究推進を進めるうえでの助言を、全体研修以外でも研究主任や管理職の先生と個別にお話しする時間をいただき、校内研究活性化の促進を図っている。

イ 協働的な校内研究体制構築の促進

上記と同様。

※特に、校内研修プログラムの紹介については積極的に行い、具体的にその手法を扱った校内研修を進める学校が増えた。



研究内容 2

地域の実情やニーズ、教員のライフステージに応じた「教員研修」支援の在り方に関わる取組について

教員研修の充実に関する支援

ア 専門性の向上に資する講師情報の共有促進

イ 教員のライフステージに応じた研修の促進

冬季の研修講座では、1年目から6年目程度に焦点を当て、道徳の時間の授業展開についての基礎基本を実施（1月15日実施）



ウ 研修講座の実施、運営の充実促進

学校訪問を軸としている本教育研究所では、「夏季研修講座」「冬季研修講座」を1回ずつ開催した。

夏季研修講座は、日常実践にすぐ活用できるような内容に配慮した。H27年度は講師を招き「合唱指導」を実施した。（26年度は演劇指導）

冬季研修講座は、所員が担当して講座開催し、若手教員のニーズに合ったものを今後も提供していく予定である。（H27年度は、本教育研究所事務局長が担当し、道徳の時間の授業についてミニ講座を実施 1/15）管内（室蘭市・苫小牧市を除く）より21名が参加した。

